



ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部・〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

11/15
2024
第886号



▲3区・泉ケンタさん

京都から 政権交代へ 府本部推薦候補3人が当選

第50回衆議院選挙



▲久御山・信貴町長



▲八幡・川田市長



2024確定闘争

人勧完全実施、地域手当8%の導入など

各自治体首長に要請

2024人事院勧告では3年連続で月例給と一時金が引き上げられた。また社会と公務の変化に応じた給与制度の整備において、地域手当を京都府全域で8%とするよう提示された。

府本部は2024自治体賃金確定闘争の推進にむけ、10月下旬から11月にかけて、各単組と連携して各自治体首長に要請書を提出。各単組との労使協議を基本とし、人勧完全実施による月例給、一時金の引き上げを求めた。また、地域手当については人材確保の観点から8%への引上げ、もしくは引き下げが提示されている自治体については現状維持を要請した。



▲城陽・奥田市長



▲木津川・谷口市長



▲井手・脇本副町長



▲福知山・大橋市長



▲京丹後・中山市長



▲京田辺・上村市長



▲6区・やまのい和則さん



▲4区・北神けいろうさん

10月27日、第50回衆議院選挙の投票が行われた。自公は215議席と15年ぶりに過半数を下回った。一方、立憲民主党は148議席と大幅に議席を伸ばした。

府内では府本部が推薦する候補者が議席を獲得。3区の泉健太さん、4区の北神圭朗さん、6区の山井和則さんが小選挙区で勝利した。1区の山平竹三さん、5区の山本和嘉さんは力及ばず厳しい結果となった。

ご協力いただいた単組・組合員のみならず、心よりの感謝を申し上げる。

笑顔集う地域を守ろう



現業・公企統一闘争 府本部闘争集会

自治労は、2024現業・公企統一闘争を「笑顔が集う地域をめざし自治体現場力による質の高い公共サービスの確立」

をスローガンに年間を通じて取り組みを展開している。府本部は10月17日、京都テルサで府本部闘争集会を開催。8単組69人が参加した。

冒頭、小西現評議長、滝川公企評議長より主催者・評議会を代表してあいさつ。技術継承や人材確保など単組課題の克服をめざし要求書の提出、交渉の実施を訴えた。

続いて、自治労本部が作成した動画「ありったけの現場力」を上映。京都市の清掃職場取材した清掃職場編と水道編のダイジェスト版を視聴した。最後に川戸闘争本部事務局長の発言による団結カンパニーで閉会した。

府本部は10月17日、京都府自治振興課の山崎課長に2024賃金確定闘争要求書を提出した。

すべての職員の賃金引上げや地域手当の引き上げ、人事評価制度への対応を求めた。

回答交渉は12月2日を予定している。積極的な参加をお願いしたい。



▲京都府自治振興課・山崎課長

府に確定闘争要求書

岸まきこ

声を力に一步前へ

第27回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者



双思交

今年は運転免許更新の年だ。前回の更新で初めて有効期限が5年となったのが少し嬉しかった記憶がある。最近、更新時の運転者講習がオンラインで受講できるようになった。このニュースを見た。マイナンバーカードを取得していることが前提となるが、ウェブ手続きを済ませれば、本来免許更新会場などで見る講習動画をパソコンやスマートフォンを使って、いつでもどこでも、自分の都合の良いタイミングで視聴できるという。来年3月から全国的に導入されるシステムだ。免許更新場は常に混雑しているイメージがなくなり、この時期が来ると億劫な気持ちになっていた私。現在試行導入されている四道府県に京都府が含まれているので、さっそくあやかうと思ひ入力してみたが、「あなたはオンライン講習の対象者ではありません」との残酷なメッセージが…。どうやら対象となるのは、優良又は一般運転者のみであることが分かった。後日、息子に届いた更新案内には「あなたにはオンライン講習の対象者です」との文字があった。(日出)

創ろう、市民自治の豊かな社会

自治労は10月4～5日、島根県松江市を中心として、来賓祝辞、基調提起を受けた。基調提起で第40回地方自治研究全国集会を開催。2700人が参加し、京都からは京都自治研の受賞者を含む24人が参加した。1日目の全体集会は、



島根で全国自治研集会

民の豊かな社会を実現していくには自治研の再生が必要。創ろう市民自治の豊かな社会をテーマに、自治の再興と自治研ルネッサンスを図るため、新たな自治研の扉を開くきっかけとしたい」と訴えた。その後、働き方研究家・西村佳哲さんをフシリテーターに、立教大学准教授・藤井誠一郎さん、自治労東大阪・前田真さんによる自治研セッション「1%の仕事から考える。課題が価値に変わる」と聞いた。2日目は9つの分科会が行われた。第4分科会「もう知らないでは済まないLGBTQ+」では、LGBTQ+やSOGI理解増進法について学んだ。府本部選出の自治研推進委員・榎田博之さん(自治労京都市職)が座長をつとめ、トランスジェンダーの女性弁護士として活躍する仲間しゅんさんが講演。「SOGIはすべての個人にとって尊重されるべき大事な概念。ひとりのひとりを尊重し、寄り添う風土をつくるのが大切」だと学んだ。地域や社会をより良い方向に変えていく実践の場として自治研活動をするよう。



▲榎田博之さん

知らないのはもったいない！ この機会に保障の見直しを

じちろうセット共済の
新規・継続募集のお知らせ

NEWS
5124V076

年に一度の 団体生命共済の 新規加入・保障の見直し チャンス！

小さい負担で
幅広く保障をカバー
組合員とその家族(だけ)が加入できる
じちろうセット共済

保障を確認
しなくちゃ！

組合員と
その家族だけ？

組合員専用の
割安な掛金・充実の保障

組合員
(60歳まで)
なら…

死亡保障は600万円～5,000万円、医療保障は入院日額3,000円～15,000円と幅広い保障額から、ライフステージに合わせて選択できます。この機会に新規加入・見直しを！

※再任用・再雇用期間も継続利用できます(保障額が変更される場合があります)。

団体生命共済

国保定期生命共済・個人賠償責任共済

早く始めるとお得！
退職後の年金
のための
積み立て制度

長期共済

税制適格年金

子どもの未来
に備える
積み立て制度

親子共済

詳しくは「じちろうセット共済パンフレット」をご覧ください

2025年4月発効／新規・継続募集中

自治労組合員だけが加入できる特別な共済
掛金を抑えて手厚い保障 この機会にご検討を

共済期間

2025年4月1日から1年間

申込書類提出先

所属の組合まで

※各単組、支部により申込書受付の締切日は異なります。
詳しくは所属の組合までご確認ください。

六甲山牧場で バターづくり

京都市学職労

学職労は10月19日、レクリエーション活動として、バスツアーを開催。あいにくの雨でしたが、15人の参加のもと神戸・六甲方面に行きました。午前中は神戸ベイクルーズ。関西最大級の豪華遊覧船ロイヤルプリンセス号に45分間乗船し、ゆったり広々とした船内で神戸港を満喫しました。その後、南京町に移動し

昼食と散策。午後は六甲山牧場でバター作りの体験をしました。ボトルの中の生クリームを10分くらい上下に強く振る続け、固まった状態になればバターのできあがり。完成したバターをクラッカーに付け試食もしました。体験時間は30分くらいでしたが、みなさんともに戻ったみたいにも吹き飛ばすくらい勢いで楽しくはしゃいでいました。親子で参加される方もいて和気あいあいの1日をすごしました。

来年も皆さんと交流を深め工夫して実施していきたいと思います。

横のつながりを大切に

府本部第14回清掃集会

府本部現評清掃部会は10月19日、ハートンホテル京都で第14回清掃集会を開催。5単組24人が参加した。冒頭、奥村部長から「八幡市として能登半島地震の災害派遣に参加し

第20回京都府内学童保育・児童館職員・保育士集会

たが、事前に京都市と情報交換することでスムーズな活動を行うことができた。横のつながりの必要性を改めて感じた。また、能登では清掃職場が委託され自治体との連携の現状と中央情勢」と題する報告を受けた。

保育における集団のあり方を学ぶ

府本部は10月13日、第20回京都府内学童保育・児童館職員・保育士集会を宇治市内で開催。3単組39人が参加した。

講師は「5歳から13歳の学童期は、活動を通して自分の得意、不得意を知る時期。遊びを通して他者と関わりながらルールを知り、守るようになることが大事。集団の中で役割を見つけ、積極的に関わることが成長につながる」と説明。

異年齢集団の関わり方の留意点として、「①子ども達に平等であり、主体的な関わり合いを作り出す。②子ども達にとっ

て拠点となるような居場所を作り出す。③子ども達の内部にあるものを主体的に話し合える環境を作り出すことをあげた。